

森林環境譲与税の活用に向けた基本方針

～持続可能な森林づくりのため～

(令和8年3月改定)



令和8年4月～令和13年3月

白馬村

森林環境譲与税の活用に向けた基本方針

～5年間の考え方～

森林は水源涵養、山地災害防止、快適環境の形成等の公益的機能を有していますが、森林所有者の不在村化や相続による世代交代などから、整備が行き届かない森林が増えています。

こうした状況を踏まえ、森林環境譲与税を活用して、森林整備や木材利用の促進等に取り組み、持続可能な森林づくりを推進します。

1. 森林の状況

本村の総面積 18,936ha のうち森林面積は 15,693ha、村の総面積の約 83%を占めています。民有林面積 10,599ha のうちスギ・カラマツを主体とした人工林の面積は 2,148ha で、人工林率は 20%と県平均の 48%を大きく下回っています。人工林の齢級配置をみると、10 齢級から 14 齢級の林分が全体の 57.4%を占めています。また、7 齢級以上の森林も増え、間伐対象森林が多く存在します。民有林の所有形態は、公有林 2,049 ha (約 19%)、私有林が 8,549 ha (約 80%)、多くが私有林となっています。

2. 活用の基本方針

令和 5 年度に北アルプス連携自立圏事業で策定した「北アルプス森林林業基本計画白馬村 実務・手引編」に基づき、各事業に取り組みます。

(1) 森林整備

全ての私有林を整備することは困難であるため、水源地周辺や集落周辺を森林経営管制度（森林経営に適さない、収益見込みのない森林を地方自治体が、所有者から委託を受け整備する）に基づき整備します。

令和 5 年度から内山地区の整備に取り組んでいますが、次期整備地区を選出し、合意形成と所有者から委託を受け、森林整備を実施します。

(2) 林業人材育成と担い手確保

本村の林業従事者は少数です。村有林等の整備に携わる白馬村林業経営者協会が組織されていますが、高齢化に伴う、人材育成や担い手確保が課題になっています。若者を始め、多くの方に林業の「やりがいと魅力」、「地球温暖化防止や生物多様性の保全などへの貢献」などを発信し、人材育成と担い手確保に取り組めます。また、白馬村経営者協会へ資機材の貸出しを行うなど、取り組みやすい環境づくりに努めます。

(3) 木質バイオマスの振興

風倒木や雪折れによる支障木、ナラ枯れ材を村民へ配布し、木質バイオマスの地産地消を図り、木質エネルギーを活用する薪ストーブなどの普及に取り組めます。

(4) ウッドチェンジの推進

国が推進する「木づかい運動” ウッドチェンジ”」に取り組めます。身近な備品や小物を木質化することで、「伐って、使って、植えて、育てて、CO₂を減らす」というサイクルに貢献します。

(5) 森林の役割に関する啓発

本村では、令和元年12月に「白馬村気候非常事態宣言」、令和2年2月に「ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。森林の多面的な公益的機能や森林整備は2030年までの世界的な目標である「ネイチャーポジティブ」(*1)、「30by30(サーティ・バイ・サーティ)」(*2)に繋がることを啓発します。

(*1) 生物多様性の損失を止め、自然を回復軌道に乗せる(2020年比でプラスにする)目標。自然を保護するだけでなく、積極的に回復させる考え。森林整備、特に人工林整備は生物多様性に貢献し、森林サービス産業の発展にも繋がる。

(*2) 陸と海の30%以上を健全な生態系として、効果的に保全しようとする目標。

3. 森林環境譲与税の活用

基本方針に基づき、次のとおり、森林環境譲与税を活用します。

(1) 森林整備

- ① 森林経営管理制度に基づく、森林整備に関する費用に活用します。
- ② 森林GISシステムの導入、維持管理に関する費用に活用します。
- ③ 国庫事業、森林づくり県民税では対応できない特殊伐採などの支障木処理等に活用します。
- ④ 森林病虫害被害木処理は国庫事業、森林づくり県民税の活用を基本とします。但し、現場が遊歩道沿等の人が多く集まる場所等、緊急性かつ早期処理を要する施業に活用します。
- ④ 遊歩道整備等、住民や観光客が森林に親しむ事業に関する費用に活用します。
- ⑤ 北アルプス連携自立圏の林業関係事業に関する費用に活用します。

(2) 林業人材育成と担い手確保

- ① 林業体験会、研修等に関する費用に活用します。
- ② 林業の“やりがいと魅力”の啓発等に関する費用に活用します。
- ③ 森林整備のための資機材購入等に関する費用に活用します。
- ④ 林業経営者協会等への資機材等の貸出しに関する費用に活用します。

(3) 木質バイオマスの振興

- ① 木質バイオマスの振興に関する費用に活用します。
- ② 薪ストーブなどの補助金に関する費用に活用します。

(4) ウッドチェンジの推進

- ① 身近な備品や小物の木質化に関する費用に活用します。
- ② 林業関係者や民間事業者などと連携した地域産木材の利活用に関する費用に活用します。

(5) 森林の役割に関する啓発

- ① 小中学校等への森林環境教育に関する費用に活用します。
- ② 林業の普及啓発に関する費用に活用します。

4. これまでの森林環境譲与税の使途

令和2年度

区分	金額（円）	備考
譲与税交付額	5,804,000	
支出	1,739,000	林地台帳改修システム委託料・北アルプス連携自立圏事業負担金
森林整備基金へ積立	4,065,000	

令和3年度

区 分	金額（円）	備考
譲与税交付額	5,814,000	
支出	3,973,247	林地台帳改修システム委託料・ナラ枯れ防除対策委託料等、ドローン購入費、北アルプス連携自立圏事業負担金
森林整備基金へ積立	1,840,753	

令和4年度

事業名	金額（円）	事業内容
ナラ枯れ防除対策事業	3,356,689	住宅付近や生活道路沿いのナラ枯れ被害木の伐倒駆除、樹幹注入によるナラ枯れ予防を実施した。岳地区 37 本、どんぐり地区 43 本、木流川 2 本
白馬村農業体験実習館暖房機器設置 工事業	1,241,900	村の集会施設へペレットストーブ（薪兼用）を導入、講習会等を開催して村民等に木質バイオマス利用を周知した。
集積計画等作成支援負担金	1,131,180	森林経営管理制度実施支援のための技術職員雇用。
林地台帳管理システム委託事業	517,000	意向調査を行うにあたり必要となる森林基礎情報の精度向上のため行う林地台帳の委託費用。
薪ストーブ購入等補助金	400,000	村民が設置する薪ストーブ購入費への補助。木質バイオマス利用促進事業を行う村内林業団体への補助。
対象森林調査設計業務委託事業	3,509,000	意向調査実施地を市町村森林経営管理事業で森林整備するための森林分調査及び設計委託費用。内山地区 9.98ha
森林環境譲与税基金積立金	323,367	森林経営管理制度に基づく森林整備事業を進めるための積立金。

令和5年度

事業名	金額（円）	事業内容
森林経営管理制度推進事業	2,907,830	森林経営管理制度により、意向調査を実施した内山地区の森林整備事業を業者に委託して実施した。支障木 61 本
ナラ枯れ対策事業	53,295	ナラ枯れ被害材によるマウスパッド作成に係る製材費等。 マウスパッド 300 枚 (0.90 m ³)
薪ストーブ購入補助事業	300,000	村民へ木質バイオマスの利用等を促進するために、薪ストーブの購入費を補助（1台 10万円まで）薪ストーブ購入補助 3台
林道改修工事負担金	1,500,000	北アルプス森林組合が新たな森林整備のために路肩が崩落した林道の改修工事を行い、村が事業費の一部を負担する。
県派遣職員負担金	1,103,013	北アルプス連携自立圏が市町村の森林経営管理事業支援に派遣する県職員の人件費を各市町村で負担する。
森林林業基本計画作成負担金	815,402	北アルプス連携自立圏が市町村の特徴、独自性、自律性を考慮した担当者のマニュアルの作成
森林経営管理制度推進事業	946,000	経営管理制度の推進のために林地台帳の整備を業者に委託、第4世代に向けた ArcGIS ソフトの購入。
森林環境譲与税基金積立金	73,632	森林経営管理制度に基づく森林整備事業を進めるための積立金。

令和6年度

区分	事業区分	金額（円）	事業内容
森林整備	森林経営管理制度による森林整備	4,086,222	内山地区の地権者と締結した森林整備協定に基づき、対象区域 13.64ha のうち、3.78ha の保育間伐及び枯損木伐採をした。
	森林病虫害等の対策	592,518	ナラ枯れ等への対応としてチェーンソーの替刃や樹幹注入剤の納入等をし、自営で防除作業や伐採を実施した。
	森林整備林道改修	500,000	林業事業体が森林整備を行うための作業道の整備を共同で行った。
	森林 GIS システム	2,145,000	林地台帳を管理するためのパソコン導入からデータ移行(メンテナンス含)をした。
	森林遊歩道整備	2,246,860	二酸化炭素の吸収を目的とした環境整備として木流川遊歩道に植栽を行った。
木材利用	薪ストーブ購入補助	600,000	木質バイオマス利用推進として薪ストーブの購入補助を行った。
	公共施設の備品整備	499,400	ナラ枯れ枯損木を活用し、役場村民ホールベンチの木質化をした。
合計		10,670,000	

活用状況（全体像）

区分	令和元年度 ～令和5年度	令和6年度	計	令和6年度末時点 の活用率
活用額	23,493,248 円	10,670,000 円	34,163,248 円	90%
譲与額	28,288,000 円	9,519,000 円	37,807,000 円	



WOOD  CHANGE [®]

